製造業業部主 靴部

泰龍



念















部、經濟報部、鮮鞋部二部臺設置京全甲一等職工數十 般一層擴張引為さる營業場所是左出寫眞平如可增築さる洋靴 下州州同胞諸賢의愛護さ召を多家さ斗替業の日金繁昌言の民今

白金泰龍商店のみと看板 ュ 正直平實地を行むら本人

金鄉禮閱幸玉。斯英廷

京城府敦義洞一

四五番地(元長春祭跡)

		夏三	+	H i	5	第	.			j	月五	年十	正大	<u>;</u>			ŧ	B	T-00-00		日			鰮	F		鄗	Ħ		Ħ!	四十	<u>-</u>	= [辛	曆陰		(T	「認	物便	到利	三	<u>(1)</u>		(四)	·	
大門野風 できない	정 돈 당 주 각 말 2	음보난 주인도파드 금 로 보이등달:야지며려	かり口の女子 単の日本 対の日の女子	刘置公司 有政外日 又弘公	나바더라 10면치 품속으로보	『돗기실라 진사설말고 돈이 만니크염으나』이 배에 청년의	ション	의나 도만주면이자리에 대한 도만주면이자리에	나손에 곱기를 떠보니 그리는	世 三	기 : : 가 :: 의 길 괴	るの とい	量が早日世代	· 中	은현	말음안이일걸 의 그 배의	在司를 먼저의을 어린	시우승을 치며 흥 당신참 장 적	金兵材り、日巻	마면패함	목이 나한다		에서 성진의 등을 보도됨이	ら可言を中では中では、一切を中心に	では、日本のの名が、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	当外中人の見 の可言を表する	足さい。日本の		大口目是日日里台 中文日中	さいこう せつり合めの さ	여무 리슨 상	丘(紅樹)ア アラか	불갓치일어나고	でで、世上七千日	본다 지역물교 것인산	ては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	린시 일이 기	등지안으면 안될것이다 차	日野田野の大変ないと	치면서 하-그림도 남	ないという 日本以外で	* 우리인간으확급의	人物	金剛		
100億七月1日本 東新南北三	計で円置エ多大支帯例の日此最月三年の毎市間の移出る月三年の日本の一日の一日の一日の一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		眼川産の写如此する他口が積置を大豆を	の一京本物のスカ平壌が近川、鏡南で東京の野野全道の常給されたものを頼動	7世紀日本大学と安美的学に登目的名の三別上司他地の移出の一個では、10世紀の11世紀の11世紀の11世紀の11世紀の11世紀の11世紀の11世紀の	申一並出てで十比と最も可量k 中南順川郡の主要展産物と栗! 「川里」を生むしては	真川曼奎勿多出词	が市民の皇集さら大脇の	10日の日前の在室の日本日の日本日の日本日の日本日の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	別利等の韓原版、元常日緒氏のJのJ金井属の金牌権の金属山	プラ 識刀を b	設立計劃	志養	『図覧を必須の記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記事を記	三四處 買客	店の製す	· 又或旅人宿營業中運送部四店中建厂	宿すと同	で設立して	で 大学	東京の政	1 万曜川ブラゼス		当からい	二世间的 始史替 火二星其形金	H 등 기 기 기	도 것이 교리 다 팔 다 가 겠 니 우 다 그 것 니 우	이로 이용 건너가거 이로 이용 건너가거	日本中国人となります。 でのは、日本の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本		では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		네야더 달 네나지	 	エマミナロを次中のというと	어지는 여감을 한고 영화	입시 기윤이다상되지만을 비 하는 이 기윤이다양되지만을 비 하는 이 기윤이다양되지만을 비 하는 이 기윤이 기윤이 기윤이 기윤이 기윤이 기윤이 기윤이 기윤이 기윤이 기	サブ とはならないの	は、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	い世の主火ガル ヨハセン	於以是四個河流是 · 好母子與其		174	石	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
前人の改造工具 開大門抄前	四四十年頃の解鮮でや投ぐと発酵では、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きずでは、大きが、大きができる。	5. 大量 医外 察 影	金殷濟氏日本	頭が感服がける語経り日至すは、母(場外)	Pら三附近村民の三其模範的行(を)動諭で呼諸般行政の著々進行(で)	を態度足南相稷氏	が被害という。	部中堡面と許幺氏で事務の形と、	年度事業報告其他任員攻選等・四日豆定期總督量開でコ大正者・四日豆定期總督量開でコ大正者・	用豆原安金种组合所M四月二~1/州郡松坡金融組合所M四月二~1	安州通信一束 二	以上應急 改善を為高事 フェール (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	、漢文書堂巴當然可撒殿多方我達到歐多事	成 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	私立學校の對社取締方法宣言使用刑事事	可教授は間可外と一切朝鮮語の間教授川語と川語讀本	本의外別全部朝鮮語呈開幕の	校以上を建す設置を事件通感校と最少限度を一面一	通學校と各道の二校以上で、	業學校、専門學校と充分を數、教育報量充分司支出をの實	本事 はまれる リュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	业教育主義言技体的の記象を解む官従主義言排除す五殖氏 家・了服する ベオタ 如き無理	加重の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	一、明神人山教育の司有を民族の要領の大略如左を中日中(釜山)	京を父と「該期成會의陳情』	\$1共可携帶陳情委員金秉圭、 ●の提案三科で中佐改立建議 ○	上四十餘名与連署三同教育調査委 200金山例月曾々員及東來有志 200金山例月曾々員及東來有志 200年	歌百名 3連署 3陳情書 章作成 な変委員會の提出文計歌の로一 会	日京城の対開催でと朝鮮教育・時期成同盟會量組織の五五月・日	有志百餘名37發起豆朝歸教育 1十四、五兩日登山에名朝歸	教育改善期成會	の利用機bookieyba 但評細事項のご解日報平康支 利用機bookieyba	・個式	明己、艮·斯巴 ,識質科目,商業等。記、會社 一類集人員 二十名		個と	中の著名皇帝が後入中が書の一名で中で四其聖明の方記の仏の古『日中(李素)	中分子が名言な思いの人なが、これを対している。これの一般は著作品を	7を受理して一致機関の変数ので 日早日不康将年介閣の機能解で型 原有年後交換器の女と次五月では	海記講習會開設 1	1980年の日本(1981) 1990年の日本(1981) 1990年の日本(1981)	が設立分合の足が前 無さ分析を	便労	「一世界では大きなない。 「一世年日の日と創立以後事務をない 順川運動場新設 を対 では	次百寸(編川) 都可	See The second s
九五0前11、10 * 本 天空前九	が顧騰電用。父仝司로中今井 当時種別数増名数的銀箔の数増名数的顕着の中何 馬原間省の数増名数的顕着の中何 馬	で可忌斗本手以入集的州人表示(受)の大きに関土以外の東京の大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	火人のようのとこの可見を回り、	で立入學が中で四个方死地の「賭」	は、大のManual To 三文文句とで、比られて大のManual To 三文文句とで、中文学の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の	新工令青山最初描列不能 b.并少于名의 生徒 看得 s. 普思思 使 题 厚意。依该的 相它可警官题头。厚意。依该的 相	の発験者が向外や立市内量巡越ののという。	引後で中島教育の従事を一種	19月1年1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1	近限すりにス不知りからの三大	は単近り上で、10円が対するとで、 一般人士三月見でといっているとと では、一般では、10円でである。	有支當局者と離某を勿論でユアる	朝鮮の現時の知可教育熱の別意見を挿入でい論立から、良い	望する司序談氏의案外記者의 十二教示すら宿志養賞判する 音切即時後 いっぱん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	Three Till 手列重を到38年度で 當局の勿論一般人士と深究する 有コスオギのプロを言葉でし	19日本の「京都県の西北田県の「大谷田の「京都県の西山田県の「京都県の西山田県の東京市が旧場の「大谷田の「大谷田の「大谷田の「大谷田の「大谷田の「大谷田の「大谷田の「大谷田	此案章採用で曳曳今施設を校平の地案章採用で曳曳今施設を校平の	「一文はお!」というでは、「一文はお!」というというというというというというというというというというというというというと	は十万日に各当日で、リー比較三二重使用法のコモス音楽山を必問			江華の晴風	_	-	仁川八景	言語の外の訪問を外四口校舎の有	使の今井氏と更引予の7來さりなの意動の工相別で外日十三日 する	大日山北首の最ももの対象日間は一番人権用を一方の最もは、一方の無ちは立ちの表れ	7月子が正計二号五比文名章 55世紀十代では、11月7日日には、11月7日には、11月7日には、11月7日日には、11月7日日には、11月7日日には、11月7日日には、11月7日日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月7日には、11月日にはには、11月日にはにはは、11月日にはにはは、11月日にはは、11月日にはにはは、11月日にはは、11	はながれては近いでは、これでは、一般の名での子で変形できれている。これでは、一般の名では、一般の名では、一般の名では、一般の名では、一般の名では、一般の名では、一般の名では、一般の名では、一般の名では、	でですりではなりを現今では、10mmには、	4枚写界及載り間を作論談で、「対すに川公舎校長今井路之助氏の対する」では、「おります」では、「おります」では、「おります」では、「おります」では、「おります」では、「おります」では、「おります」では、「	7年7年の三月末で三十四次 全員利用での一人のプラミの背及 全員のおりの アンス はいまし はいまし いんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう いちゅう しょうしょう しょう	では、現代では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	11年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	此使用法量取で型数・豆何	时去 K E E TO	本のの口はで(別外)	以3多情は維持の日本省で大き好の単一の一般の一般をはある。日本省で大きない。	「中川説で外へ可満場三種菜 父兄」「中川説で外へ可満場三種菜 父兄」	「多情を態度公東洋本和書寫 父兄祭99章無数で外口で四日本頃の我	地域以來日本四文明状態四世的	5、新生、家教其他能够等20分/青金85至主豆含蔬菜、教育、工業/蔣马85至主豆含蔬菜、教育、工業/蔣马85年	は、一般を選択している。これでは、これでは、一般を選びいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	- 東の主列陸近常局の命令量氏を	•
1900	信格 三非常的高峰、や後來二、熱の膨脹者、三字は熱狂的。三字は熱狂的。	山質は水色でなれた切りと時位出り無な内はないとの形が見るないとのではないというではないというではないというでは、これではないとのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	年土曜一日之動馬以奉行り無子はすの東京附近、315春秋二別	金七一回が二十萬組以上の三と五萬十萬四多數の違うユ共	一百の違さらいちのと聞をいい	Mの記銭場合投立!顧賞三賞「公益を厳盛でコ利益を示して」位している。 「日本を厳盛でコ利益を示して「位」	「佐競馬」で、藤枝競馬と等り互合語と、「産動馬」と 東に乗る	こですもらいぎにももすっての場所で、鳴尾火歩銃馬 、「麻麻」、「麻麻」、「麻麻」	はいるでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、	となる。 という はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	がいて場では、これではあると、格の助う中御臨中で有すり、これの重賞は個工具単行・「際での」と百方の三寸で	即立日の政府の分と此景疑励馬匹先東「蘇馬曾京濱競馬俱樂部でし	は馬券「致行会許」が合の三人子上行益での三世を記憶りと競馬を対す	四城州依处日本人。豆是东馬收 可以明治三十九年。豆足且可民法三 豆年代表語 75.9%	1987年19月1日 1987年	19世紀日の北北を別でらっている。 19世紀日の北州帝周が良い念「忠宗」の「忠宗」の「忠宗」の「忠宗」の「忠宗」の「忠宗」の「忠宗」の「忠宗」の	が、一下のでは、一下のでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	1、無言の語では、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	19派を見虚大計引な実をとり流送をスリンと競場のと馬券50番と	育別が三銭馬が茶馬が良上が一当及の分時代	日の見思すが日外中では、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	成良の一大要件の名丁州刘子の記書除を外のと異正可競馬が馬門	2 オヨダム・然の・十一部3 人間間を利用すど小規模3 競馬が盛り	の中各々産馬地方の分と展別領で		でいる小所の諸島中国未建っている人とハダン御名代書差遣っている。	が八十諸野山統制「御雄幸」「年代」が入り、加入すると者が極引称している。 超明の 分間でイメリー 体	「勝島」「風味・小川散を育りまで局が明治・1分別の「い臓氏・1)のである。 おまず は 非 龍	新馬術。 製造東下館、 東京	が元月を上司(未完) 加助	今井氏当案を勝すら故空此不能とする情があるメノユ経	、東心と・共鳴・中間情気と含めて、東心と・共鳴・中間情気と含めて	元を五社会기间情の深意不禁然前、一大放摩佛道で七年親の有言明治	仮数さ七次を目見をコ年其数が入り司後四父母最級恨を初きと	からして、 のでのグラットのでは、 のでで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	「教育物典を付寄る足を見ぬ」。 にの対象を対象を対象を対象がある。 にの対象を対象を対象がある。 にの対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	シンでの対と明 の三天号 新島	入事以来すりとい明年『三季を	入事の日本所が派を山子息を行う時の生を子弟を教育を中を日島	の來議で기量「我等の如此計201一位以此一个公合リ中 8 911	四族話者町から豆配をといり如新の名族話者町から豆配をといりの一種	出別で「質工後進者の對で属所」を表現の大きの三種劇の大き	不禁でが至い四기中元月五年時で不禁でが至い四川と東上が野心に、七年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十	「東京教育の無理五百数十人 山麓の東京教育が有が吹い」 さい 馬には かりの はい かい	「自己學校內外出一百人弟干 」。	
	脚成與支局 九十四番地	電成銀合門内面中里の財産が利益を入る。	に各分引きのでは、1900年の本文局で一層振張引はできません。	革与	明并 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	支局長が大手に会議を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	が事務を収扱利ぎる「受験を政力を立新関叛、政力を立新関叛、政治を取扱。」	文 C 放 C 州	进一日日本 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	18一曜一一四秒 モダリ	非分を進行を呼場が致行前	11世紀前三時改計 14年2月1日 11世紀1日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日	一日 三月昨年の以上千山の	一女補少さ立馬 川三馬券時代 株式		事と確實で中	の基可嚴多の三多大的效果	おお殺行をスツ始初三現在投票と、正三年東京競馬俱	行与と勝馬投票の中	公園 鎌ヶ中での百方の豆 一部良名不能で中まりに百方の豆	を見るのがある。	英馬獎励 音考慮 では職者と 節 本馬獎励 音考慮 では職者と 節 では、 一節 では、 一節 では、 では	至天日の話す不振す五競馬	星次9四十三年『七一千二 五四十一年の 二十六百餘 —	思り日中出地馬数三非常可言の日本の一個後世年行列天下	父合の三高質の馬匹・競馬一十三年の 301十一萬三千圓	賞金五十七萬一千週のモス一句維持別되父스は四十一年	○2000 ・2000	(樂部呈習) 57十一競馬俱樂 新傳、藤枝(大正六年福島競	本東京、阪神、京都、札敦、画	州田故京館馬規程の依を今代	盡火ヨスコスコ収入三城であり、禁止州田諸馬	馬券以受資音禁止さガヨシ	開催を才をよびの叉合の豆	時質の世帯後拳握な立江斉は八月の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の	で読品が馬が当取りと の蓄種の常客が影響が次と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	曾三利益の非常司名言の至文外四	路を可動局が国外へといれる。	等り無例限の気を으로世上の場合・東京の対するので、東京の対するので、東京活動	税々設置川職者最生を外区 一年 一個所 5 近点数の違で立る	さい 動場分 N値号 二二年内	当進步至顯著並及の見後い可良験生産。努力を結果を	事業を受け現在の作を指方・中の関ゼ以上を受け、別会の見	選権が連定及の一萬個以上の母を一千河舎不下で立少		
南大門登前へ加藤八豆前へ	金昇	清華醫院	B	卓	医野岛 一月 声奏	足一方字			一			電路へ立义とコー	走 趙昌 #	融與業社出張	青事 班拉阿	作記一七大米	夏商 辛良桓	教を洞	Ť		電話一七七番	解解 李 他 商 會	清津 明治町			學原	申朱 戰 民	廳	支店上二峰驛前		東西線。支店	海洋資 町	電話一大八米	本店會寧驛前	で置者組織が文件で			電路(豆火ビチョ)	製造 伯元 严	清神府新岩洞 ——		3	なる推	祝题成北支		For the
00前11、10後月、日後月、110後六	5	种土层挖潜	1 1		委托贩政事。由于一个一人	幸制		:	後電船引針ヲ	で記述 三文 と く			紳士黄元吉				電話三四番		美 子_	玉子		Ŧ		主千 鍾 萬	即月樓	j	清津新岩洞			# 士 奠 惠 再	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	青 事 你 各同	電話三一八番	基 朱 亨 順	是北西省				四 山 毎	清神 . 当	支 唐 仓字解前	金李 星承 <u>李</u> 日		局發展		
10枝 150枝10 00 湖 大 田雲	-	兆 吃香 葡萄	色弄	桃 1 金)	山 山	金波樓	清津新岩洞		//\	谷石血清の大味	觀	消 津 勃 岩	=	津		i 長(全	宵 津 府 新)) 	成鏡北道獎勵特數夏洋服地麻	滿鮮產雜製類直輸移				貿易商士良	清净新岩			徐	朴木		清净新岩	本所技工無一의特點の母故を開始でといわれる。	氏の遺跡千ちられまからま	策略(半日)又5日	電話三六七五三十二番	周正焕		樂勳	長張世憲	發 共進組合		
一番 K I D M T M K K M I M M K M M M M M M M M M M M M	盧龍龍		ļ	建 田 設 羽	₽ Si	雑貨商会・米黒	定相		立 門 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	隨意注射 -	海醫院	洞角	光組運送部	" ,	電話三三九番	李秀		岩同		キン/又元へ		夢 一一一一一一一一一一一一一	布一手販算	• • • •				鍾 國	洞	1		义 S +	國力	信记册户	s Ž	三北鮮政位 三日的ラロ 象所精神を上げる (1) 10 10 10 10 10 10 10	正為置三人以且今回三个節手!!	1		H	方 各 七	東一堂乾材局	•	清津新岩洞		
	香委托東買業 朴利華 迎東京防衛業 朴利華	3 李 王 顺	北鮮理髪部	潰	主金鎮元	大東理髮館	清丰 "岩洞"	主李容柱	東羊里美山		李載鳳	l		新疆 鄭 基 建四		台	津府新岩洞		始然	津府補項洞		神士張斗列	津府浦項洞	1	活 大 言 奎	を サバイロエジモウト 清津府浦項洞		朴炳華			臟 輸 金 有 實	清津沙岩洞	電話三	發展別域 金 秉 倫	清津新岩詞	超數 李鼎 華	清神新型模		李成根		## A	清· 一	声 奥 浙	は 大昌東河所東北東第三 大昌東河所東北東第三 大昌東河所東北東第三		~
新文元0年《西里·100	花柳病国病組織の無代書墓	単的神楽の	内呈永山	天権部で	之 三 期 之 初			大	~			있 지 마 시 오 □	丘工약을씍	둉기나신양반		内外雜貨商之丁、丁、丘、	 		内外籍货商 石 泰 瓊	\$		彩 吳 童 養	印象という		44	清津新岩州		組製布以前 白 雲 鶴	清津新岩祠		10年	行列を	Ž	布衛 柳 泰 共		は既留又セメイン は既留又セメイン	神神料岩洞		建筑 金条恒	清净新岩洞	1	が発展を		建筑縣主 虛 基 龍		